

令和6年度 公共事業事後評価調書

1. 事業説明シート

(区分) **国補** 県単

事業名	中山間地域整備事業 [中山間地域総合整備事業(国補)]		事業箇所	大月市	地区名	大月北部	事業主体	山梨県																				
(1) 事業着手年度	H20年度	(2) 事業期間	H20年度~R1年度		(3) 完了後経過年数	5年	(4) 総事業費	1,182百万円																				
(5) 事業着手時点の課題・背景					(8) 事業位置図等																							
<p>本地区は大月市北東部の中山間地に位置し、国・県道等の沿線に点在する集落では小規模ながら特色ある農業が行われる農業地域である。</p> <p>しかしながら、近年の鳥獣被害の増加による営農意欲の低下や農地の荒廃化、生産基盤の遅れによる作業効率や品質の低下などが問題となっていた。また、集落内の狭小な道路や防火対策等の生活環境の改善が求められていた。</p> <p>このことから、鳥獣害防止施設や農道等の基盤整備に加え、集落道等の生活基盤を総合的に整備することで営農条件の向上と合わせ生活環境の改善を図り、安全・安心な村作りを目指し事業を実施した。</p>																												
(6) 事業着手時点で想定した整備目標・効果																												
<input type="checkbox"/> 主要目標 ○中山間地域等の農村生活・生産機能の向上 <input type="checkbox"/> 副次目標 ○集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上 ○農業用排水能力の向上 <input type="checkbox"/> 副次効果 ○農地の保全																												
(7) 整備内容(目標達成の方法)					<p>地理院地図(国土地理院)を加工して作成</p>																							
<table border="0"> <tr> <td>・用排水路</td> <td>3路線</td> <td>L=</td> <td>482m</td> </tr> <tr> <td>・農道</td> <td>2路線</td> <td>L=</td> <td>1,131m</td> </tr> <tr> <td>・区画整理</td> <td>1箇所</td> <td>A=</td> <td>4.1ha</td> </tr> <tr> <td>・鳥獣害防止施設</td> <td></td> <td>L=</td> <td>17,144m</td> </tr> <tr> <td>・農業集落道</td> <td>1路線</td> <td>L=</td> <td>339m</td> </tr> <tr> <td>・集落防災安全施設</td> <td></td> <td>N=</td> <td>2箇所</td> </tr> </table>									・用排水路	3路線	L=	482m	・農道	2路線	L=	1,131m	・区画整理	1箇所	A=	4.1ha	・鳥獣害防止施設		L=	17,144m	・農業集落道	1路線	L=	339m
・用排水路	3路線	L=	482m																									
・農道	2路線	L=	1,131m																									
・区画整理	1箇所	A=	4.1ha																									
・鳥獣害防止施設		L=	17,144m																									
・農業集落道	1路線	L=	339m																									
・集落防災安全施設		N=	2箇所																									

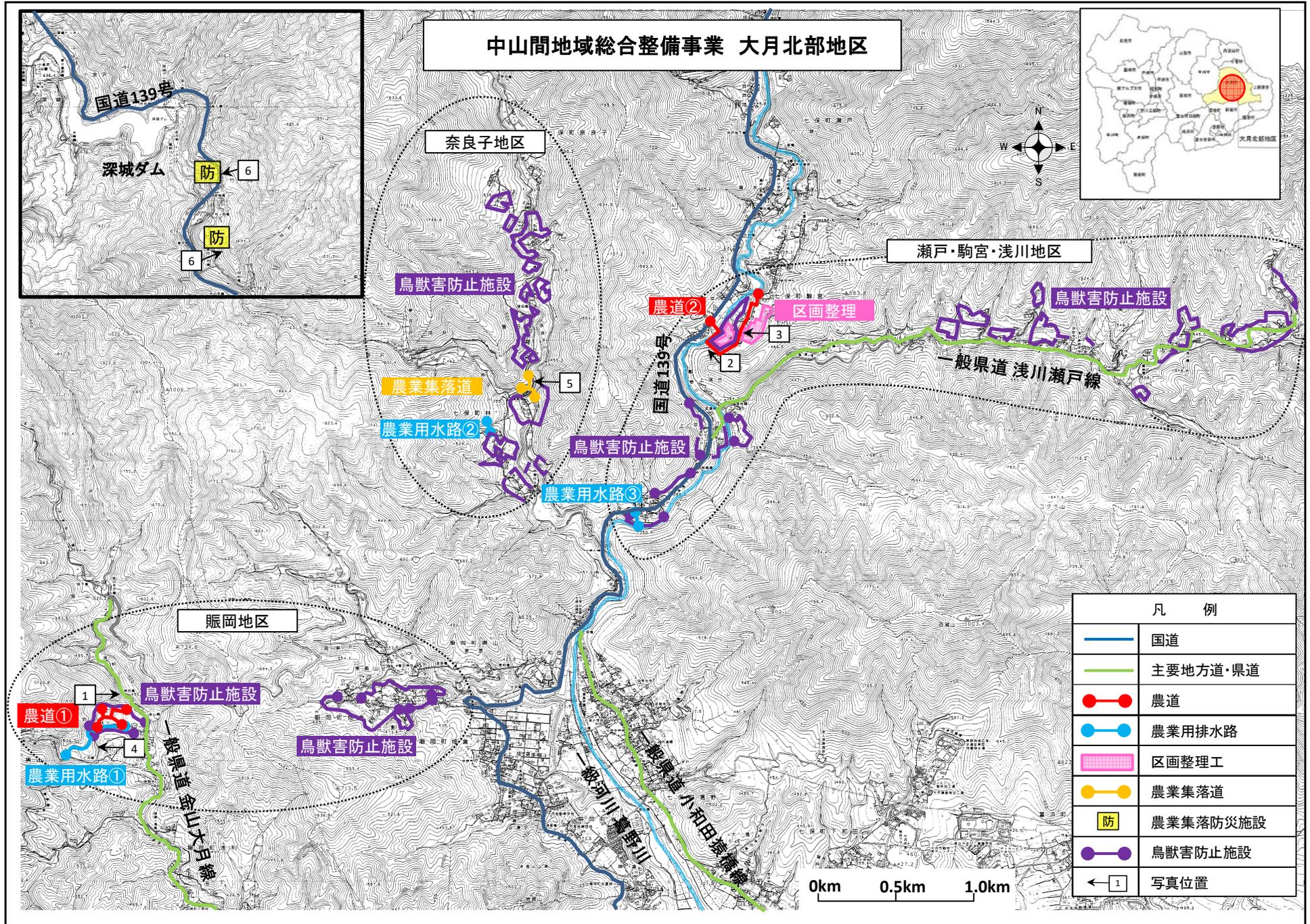
2.評価シート(1)

(1) 事業貢献度 (良)・不良	(2) 費用対効果分析の算定基礎となった要因等の変化 (有)・無																																																							
<p>(理由)</p> <p>鳥獣害防止施設により農業被害が防止され耕作者の営農意欲が高まり地域農業の活性化が図られた。また、農道、用排水路の整備や区画整理により、農作物の品質向上や農作業効率の向上が図られた。</p> <p>①主要目標：中山間地域等の農村生活・生産機能の向上</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:20%;">指標</th> <th style="width:40%;">事業着手時点数値等</th> <th style="width:40%;">事後評価時点数値等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>面積当たり農業所得増加額</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">1,419千円/ha</td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="checkbox"/> 評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業所得の増加額が評価基準値1,322千円/haを上回っている。 <p>②副次目標：集落間・小規模拠点へのアクセス向上、農業用排水能力の向上</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:20%;">指標</th> <th style="width:40%;">事業着手時点数値等</th> <th style="width:40%;">事後評価時点数値等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全幅員4m以上道路延長率</td> <td style="text-align: center;">0%</td> <td style="text-align: center;">73.3% ※1</td> </tr> <tr> <td>施設老朽度</td> <td style="text-align: center;">1.77</td> <td style="text-align: center;">0.47 ※2</td> </tr> <tr> <td>用排水能力向上率</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">1.25 ※3</td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="checkbox"/> 評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 改良が必要な農道及び集落道1.5kmのうち1.1kmを幅員4.0m以上に整備している。 ※1 (全幅員4.0m以上道路延長率) = (対象路線の全幅員4.0m以上の区間延長：1.1km) ÷ (対象路線の全体延長：1.5km) = 73.3% ≥ 65.0% 施設整備により、老朽度は改善されている。 ※2 (施設老朽度) = (使用年数14年) ÷ (耐用年数30年) = 0.47 ≤ 1.00 施設整備により通水能力が向上しており、排水機能は改善されている。 ※3 (用排水能力向上率) = (計画用排水能力：0.5m³/s) ÷ (既存用排水能力：0.4m³/s) = 1.25 ≥ 1.00 <p>③副次効果：農地の保全</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:20%;">項目</th> <th style="width:80%;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農地の保全</td> <td>排水路の整備により表土の流出が防止された。</td> </tr> </tbody> </table> <p>④その他の事業効果の発現状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 鳥獣害防止施設の整備により、獣(サル、シカ、イノシシ)の出没も減少し、安心できる営農環境及び生活環境が整えられた。 	指標	事業着手時点数値等	事後評価時点数値等	面積当たり農業所得増加額	-	1,419千円/ha	指標	事業着手時点数値等	事後評価時点数値等	全幅員4m以上道路延長率	0%	73.3% ※1	施設老朽度	1.77	0.47 ※2	用排水能力向上率	-	1.25 ※3	項目	内容	農地の保全	排水路の整備により表土の流出が防止された。	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:15%;">項目</th> <th style="width:35%;">着手時点</th> <th style="width:50%;">事後評価時点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総事業費</td> <td style="text-align: center;">1,335 百万円</td> <td style="text-align: center;">1,182 百万円</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td style="text-align: center;">H20~H25</td> <td style="text-align: center;">H20~R1</td> </tr> <tr> <td>評価基準年</td> <td style="text-align: center;">H19</td> <td style="text-align: center;">R6</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td style="text-align: center;">1,804 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td style="text-align: center;">1,501 百万円</td> </tr> <tr> <td>関連事業費</td> <td style="text-align: center;">303 百万円</td> </tr> <tr> <td>便益</td> <td style="text-align: center;">2,383 百万円</td> </tr> <tr> <td>営農経費節減効果</td> <td style="text-align: center;">376 百万円</td> </tr> <tr> <td>走行経費節減効果</td> <td style="text-align: center;">402 百万円</td> </tr> <tr> <td>一般交通等経費節減効果</td> <td style="text-align: center;">573 百万円</td> </tr> <tr> <td>その他 ※1</td> <td style="text-align: center;">1,032 百万円</td> </tr> <tr> <td>B/C ※2</td> <td style="text-align: center;">1.3</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">1.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 その他は、品質向上効果、作物生産効果、維持管理費節減効果、耕作放棄地防止効果、災害防止効果、地積確定効果、生活環境改善効果、災害時応急対策効果</p> <p>※2 費用便益比(B/C)は1.0を超えており、経済効率性は確保されている。(要因変化の分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> 総事業費：大月市内に代替施設ができたため、市民農園を計画変更で廃止したことによる事業費の減。 工期：計画変更に伴い地元との調整に時間を要したため。 <p>(3) 事業実施による環境の変化</p> <p>①自然環境への影響</p> <p>鳥獣害防止施設の整備により農地の荒廃化が防止され、地域の良好な農村景観が保たれている。</p> <p>②生活・居住環境等への影響</p> <p>農業集落道及び集落防災安全施設の整備により生活環境が向上した。</p> <p>③環境保全対策の効果発現状況(措置を講じた場合)</p> <p>なし</p> <p>(4) 社会経済情勢の変化が事業に及ぼした影響</p> <p>①社会経済状況の変化</p> <p>なし</p> <p>②関連計画・関連事業の状況の変化</p> <p>なし</p> <p>③事業環境等の変化</p> <p>なし</p>	項目	着手時点	事後評価時点	総事業費	1,335 百万円	1,182 百万円	工期	H20~H25	H20~R1	評価基準年	H19	R6	経済効率性	費用	1,804 百万円	建設費	1,501 百万円	関連事業費	303 百万円	便益	2,383 百万円	営農経費節減効果	376 百万円	走行経費節減効果	402 百万円	一般交通等経費節減効果	573 百万円	その他 ※1	1,032 百万円	B/C ※2	1.3		1.2
指標	事業着手時点数値等	事後評価時点数値等																																																						
面積当たり農業所得増加額	-	1,419千円/ha																																																						
指標	事業着手時点数値等	事後評価時点数値等																																																						
全幅員4m以上道路延長率	0%	73.3% ※1																																																						
施設老朽度	1.77	0.47 ※2																																																						
用排水能力向上率	-	1.25 ※3																																																						
項目	内容																																																							
農地の保全	排水路の整備により表土の流出が防止された。																																																							
項目	着手時点	事後評価時点																																																						
総事業費	1,335 百万円	1,182 百万円																																																						
工期	H20~H25	H20~R1																																																						
評価基準年	H19	R6																																																						
経済効率性	費用	1,804 百万円																																																						
	建設費	1,501 百万円																																																						
	関連事業費	303 百万円																																																						
	便益	2,383 百万円																																																						
	営農経費節減効果	376 百万円																																																						
	走行経費節減効果	402 百万円																																																						
	一般交通等経費節減効果	573 百万円																																																						
	その他 ※1	1,032 百万円																																																						
	B/C ※2	1.3																																																						
		1.2																																																						

評価シート（2）

<p>(5) 今後の事後評価の必要性 〈有・無〉</p> <p>(理由)</p> <p>鳥獣害防止施設により農作物の被害が軽減され農家の営農意欲が向上、農道の整備により生産や出荷にかかる輸送経費の削減、用排水路の整備により農地の浸食や排水不良に起因する減収防止、区画整理による農作業効率の向上など、営農条件が改善されるなどの効果が発現されているため、今後の事後評価は必要ないと思われる。</p> <p>□「有」の場合の実施時期及び方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時期： 年度 ・ 方法： 	<p>(7) 同種事業の計画・調査のあり方の見直しの必要性 〈有・無〉</p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし <p>(具体的反映策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし
<p>(6) 本事業における改善措置の必要性 〈有・無〉</p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし <p>(具体的反映策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし <p>(既に実施した改善策の内容と効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし 	<p>(8) 事業評価手法の見直しの必要性 〈有・無〉</p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし <p>(具体的反映策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし <hr/> <p>(9) その他特筆すべき事項 〈有・無〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業を実施することで、地域住民が安全・安心に生活できる農村地域が維持され、地域コミュニティーの形成や農業・農村の多面的機能の発揮に繋がった。

3. 添付資料シート（1）



3.添付資料シート（2）

1 鳥獣害防止施設



事業前

イノシシ・シカ等による農作物被害により、耕作者の営農意欲の低下を招いていた。



事業後

鳥獣害防止施設の整備により、農作物被害が軽減され、耕作者の営農意欲が向上している。

2 農道



事業前

未舗装で幅員も狭く車両の乗り入れが困難であったため、営農効率が著しく悪く、農作業に支障をきたしていた。



事業後

農道の整備により、車両の乗り入れやすれ違いが容易になるなど、農作物の輸送や通作環境が改善し、作業性が向上した。

3.添付資料シート (3)



3 区画整理



事業前

小区画不整形で作業条件が悪いほ場のため、農地の荒廃が進行していた。

事業後

区画整理により、農地が集積されたことで作業効率が向上し、営農条件が改善された。



4 用排水路



事業前

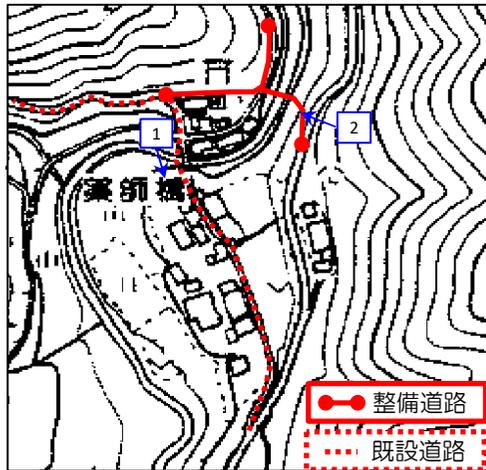
水路断面が小さく、排水不良や表土の浸食・流出が生じていた。

事業後

用排水路の整備により、表土の流出や排水不良が改善されるとともに、維持管理労力が軽減され、生産効率が向上した。

3.添付資料シート(4)

5 農業集落道



事業前
集落を結ぶ既設道路は幅員が狭く
往来するのに大変な苦慮を強いられていた。

事業後
道路(橋梁)を新設整備したことで集落間の往来や
緊急時の対応が可能となり、地域の生活環境改善が
図られた。

6 集落防災安全施設



小金沢地区は、防火設備が整備されておらず、すぐ背後に森林を控えており山火事への拡大も懸念されていたが、防火水槽を整備したことで、安全・安心な生活環境の改善が図られた。

3.添付資料シート (5)



奈良子地区の栗畑



「ぼろたん」



大月市内直売所

本事業で整備した鳥獣害防止施設によって、新たに生産された奈良子地区内の栗「ぼろたん」は、大月の直売所へ出荷されるとともに、大月市のふるさと納税の返礼品にもなっている。



賑岡地区の玉ねぎ畑



大月玉ねぎ感謝祭の様子



生産された賑岡地区を含む大月市産の玉ねぎを使って、大月市は食品会社・市内玉ねぎ生産者の協働により、玉ねぎの振興を目的として、『大月玉ねぎ感謝祭』を行っており、県内外から多くの人々が訪れている。